

6 行事・イベント

(1) 講演会等

熊本地震シンポジウム

日 時 4月25日(日)

13時30分～16時45分

場 所 熊本城ホール・シビックホール

共 催 熊本大学くまもと水循環・減災研究
教育センター

基調講演

・後藤 秀昭 氏 (広島大学准教授)

「地形から見た布田川断層と熊本周辺の
活断層」

・遠田 晋次 氏 (東北大学教授)

「熊本地震を引き起こした断層のメカニ
ズム」

・宮下 由香里 氏 (産業技術総合研究所
地質調査総合センター)

「熊本地震後の活断層調査で新たに分か
ったこと」

パネルディスカッション

『これからの5年、10年、100年… 地震・
火山噴火・水害などの自然災害に強い熊
本を目指すために私たちのできること』

(ファシリテーター)

・鳥井 真之 氏 (熊本大学特任准教授)

(パネリスト)

・水野 直樹 氏 (特定非営利活動法人ソナ
エトコ理事長)

・内田 安弘 氏 (西原村布田地区長)

・池辺 伸一郎 氏 (阿蘇火山博物館長)

・南部 靖幸 (熊本博物館学芸員)

参加者 90名

内 容

基調講演では平成28年(2016年)熊本
地震以降、熊本県内の活断層調査に携わっ
た3名の専門家を講師に招き、県内各地に
見られる断層変位地形や地震後の地下の応

力場の変化、過去の地震記録からみた今後
の災害リスクといった視点から、地震後に
新たに得られた知見を中心に分かりやすく
ご講演いただいた。

パネルディスカッションでは熊本県内の
大学、博物館、地元自治体、地域社会など
の防災教育の現場で活躍する方々にご登壇
いただいた。今後、熊本地域がどのよう
にして災害に強い地域を目指していくべき
か、会場の参加者からも意見をいただきな
がら共に議論した。

本シンポジウムは熊本地震発生から5年
の節目の時期であったため市民の興味関心
が非常に高く、事前申し込みの時点で140
名を超える応募があったが、直前の新型コ
ロナウイルス感染症拡大に伴ってキャンセ
ルが相次ぎ、当日の参加者は90名に留ま
った。



(2) ゴールデンウィークイベント

大型連休は熊博へGO!

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記の
イベントは全て中止

ア 太古の化石「フズリナ」発見! 石灰岩の磨り
出し体験

日 時 4月29日(木・祝)

担当者 南部 靖幸(地質)

イ 石畳を発掘しよう

日 時 4月29日(木・祝)

担当者 中原 幹彦 (考古)

ウ 世界に一つだけ?! オリジナル刃文をデザインしてみよう

日 時 5月1日 (土)

担当者 竹原 明理 (美術工芸)

エ 草木染体験

日 時 5月1日 (土)

担当者 山口 瑞貴 (植物)

オ ちりめんモンスターを探してみよう!

日 時 5月2日 (日)

担当者 清水 稔 (動物)

カ 特別公開! 古文書読み解き講座

日 時 5月2日 (日)

担当者 木山 貴満 (歴史)

キ 銅鏡のレプリカを作ろう

日 時 5月3日 (月・祝)

担当者 坂本 直也 (保存科学)

ク 星砂で星座カードを作ろう

日 時 5月4日 (火・祝)

担当者 野村 美月 (天文)

ケ ミョウバンの結晶を育てよう

日 時 5月5日 (水・祝)

担当者 山口 均 (理工)

コ 西南戦争遺跡巡り~熊本城~

日 時 5月5日 (水・祝)

担当者 中原 幹彦 (考古)

(3) サタデーナイトミュージアム

夏季の熊本城開園時間延長期間および秋のお城まつり開催期間中の土曜日に開館時間を延長し、イベント等を実施した。周辺施設と連携を図り、当館への市民の関心を高めるとともに、博物館活動の多面的な魅力を伝えることを目的とした。

<夏季>

日 時 7月24日 (土)、7月31日 (土)

17時~20時 (入場 19時 30分迄)

入場者 7/24 : 780名、7/31 : 461名

【実施イベント】

ア ミュージアムトーク (動物)

常設展示室の生物展示エリアにおいて、動物分野を中心に展示解説を行った。

日 時 7月24日 (土) 18時30分~19時

場 所 常設展示室2階

内 容 毒をもつ動物について

イ ナイトプラネタリウム

放映番組「銀河鉄道の夜」

日 時 7月24日 (土)、7月31日 (土)

17時10分~ (約55分間)

観覧者 220名

<秋季>

日 時 11月20日 (土)、27日 (土)、

12月4日 (土)

17時~20時 (入場 19時 30分迄)

入場者 11/20 : 691名、11/27 : 661名、

12/4 : 590名

【実施イベント】

ア 屋外展示場等のライトアップ及び竹明かりの設置

博物館玄関 (北側・南側) に竹灯籠のオブジェ、プロムナードに竹灯籠を設置。また、屋外展示場にはLEDライトを設置し、SL及び紅葉樹木をライトアップした。

日 時 11月20日 (土)、27日 (土)、

12月4日 (土)



イ ナイトプラネタリウム

投映番組「銀河鉄道の夜」

日時 11月20日(土)、27日(土)、
12月4日(土)
19時～(約55分間)

観覧者 330名

ウ スライムを作ろう

定例の子ども科学・ものづくり教室では取り扱っていない「スライム」の製作を行った。

日時 ①11月20日(土)
②12月4日(土)
17時30分～21時

場所 1F エントランス
2F オープンスペース

担当者 山口 均(理工)

参加者 ①150名 ②110名

エ 紫外線で光るモノ

照明を落として暗くした会場で、節足動物、鉱物、植物から抽出したクロロフィルなどに紫外線を当て、蛍光を放つ様子を観察し、その性質を解説した。

日時 11月27日(土)
18時20分～19時

場所 講堂

担当者 清水 稔(動物)

南部 靖幸(地質)

参加者 49名



紫外線を照射したサソリの標本

オ もみじワークショップ

紅葉の仕組みやカエデに関する解説を交えながら、種子模型や絵はがき作りの作業を行った。

日時 12月4日(土)

①15時～16時

「モミジの種子を作って飛ばそう」

②17時～19時

「モミジの葉っぱで絵はがき作り」

場所 実験・工作室

担当者 山口 瑞貴(植物)

参加者 106名(①30名 ②76名)



カ 銅鏡レプリカづくり

銅鏡をはじめ青銅器に関する作成方法の解説を交えながら、レプリカ作りの作業を行った。

日時 11月20日(土)

17時～20時

場所 実験・工作室

担当者 坂本 直也(保存科学)

参加者 40名



(3) その他

ア 「地質の日」企画 web 版：金峰山の上（西側） からみた熊本市周辺の火山

「地質の日くまもと実行委員会」は、毎年 5 月 10 日の「地質の日」に合わせて合同イベントを実施しているが、今年度は新型コロナウイルスの流行のためイベント開催を中止。その代替として、加盟館・協会の各ホームページで生命進化をテーマとした web コンテンツを制作・公開した。

熊本博物館は金峰山山頂で撮影した 360° カメラの写真に山体の形成年代を記載した VR 画像をホームページや Facebook に掲載し、現在も公開中である。

日 時 5 月 10 日（木）～
担当者 南部 靖幸（地質）

イ 夏休み自由研究相談会

夏休みの自由研究に関する相談会。第 1 回目は研究テーマや方法などに関する質問、第 2 回目はまとめ方や採集した標本の同定などを中心に実施した。

日 時 ①7 月 24 日（土）
②8 月 21 日（土）
13 時～16 時
担当者 学芸班（自然系）職員
参加者 16 名（①8 名 ②8 名）

ウ 夏休み化石観察会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

日 時 8 月 7 日（土） 9 時～17 時
場 所 熊本県天草市龍ヶ岳町
担当者 川路 芳弘 氏（錦ヶ丘中）
南部 靖幸（地質）
清水 稔（動物）

エ 生きもの観察会

（動物編）

日 時 7 月 25 日（日）
10 時～11 時 30 分

場 所 立田山
担当者 清水 稔（動物）
参加者 24 名

（植物編）※雨天のため中止

日 時 8 月 1 日（日）
10 時～11 時 30 分

場 所 水前寺江津湖公園（上江津湖地区）
担当者 山口 瑞貴（植物）

オ 草木染体験

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

日 時 8 月 14 日（土）
13 時 30 分～15 時

場 所 実験・工作室
担当者 山口 瑞貴（植物）

カ 古生物の「クリスマスツリーかざり」をつくろう！

クリスマスに合わせ、お湯で軟化する樹脂を使ってアンモナイト型や三葉虫型のクリスマスツリーオーナメントを作る活動を実施。樹脂を冷ます待ち時間にはクリスマスにちなんだ古生物クイズを行った。

日 時 12 月 11 日（土）
①10 時～ ②13 時 30 分～
③15 時～

場 所 実験・工作室
担当者 南部 靖幸（地質）
参加者 44 名（①9 名 ②21 名 ③12 名）



キ 春の化石観察会

日 時 3月19日(土) 9時~17時
場 所 熊本県天草市龍ヶ岳町
担当者 川路 芳弘氏(錦ヶ丘中)
南部 靖幸(地質)
清水 稔(動物)

参加者 20名

ク ドラえもんを観よう!「種子島宇宙センター」 オンライン見学会

「映画ドラえもん のび太の宇宙小戦争 2021」
関連イベントとしてドラえもんが案内役となり宇宙
に一番近い島・種子島の種子島宇宙センターを
紹介する映像の放映を行った。

日 時 3月26日(土) 14時~15時
場 所 プラネタリウム室
主 催 株式会社プラネット
参加者 40名

(4) くまはく誕生月間

当館の開館日(1952年2月4日)にあわせ、2
月を「くまはく誕生月間」として多様なイベント
を実施。期間中に3回来館された方にはアンモナ
イトを進呈した。

ア バックヤードツアー

「博物館の裏側」と題して、トラックヤードや収
蔵庫を見学してもらい、資料調査や学芸員の仕事、
資料を保存する上での注意点等の解説を行った。

日 時 2月5日(土)
(1)10時~11時30分(自然分野)
(2)14時~15時30分(人文分野)

場 所 実験・工作室ほか
担当者 坂本 直也(保存科学)
参加者 (1)11名 (2)6名

イ いろいろな火起こし方法を体験してみよう!

まい切り法や火打石を使った火起こしを体験し
てもらい、人類と火のかかわりの歴史や火が大切
なものであることを学んでもらった。

日 時 2月11日(金・祝)
(1)10時~11時
(2)13時30分~14時30分

場 所 南玄関前
担当者 稲津 暢洋(考古)
参加者 26名

ウ 紹介します!実験で使ういろいろなモノ?!

博物館が有する各種の実験装置や器具類(水の
全反射・レンズの働き・フレミングの法則・慣性の
法則などを学ぶ教材・教具、太陽焦熱炉、静電気発
生装置、真空ポンプその他)を講堂及び実験・工作
室に多数並べ、操作方法などを体験的に学ぶこと
ができる場を設けた。

また、熊本大学名誉教授の東徹先生には自作の
電磁気教材を中心にご紹介いただいた。

日 時 2月11日(金・祝)
(1)13時30分~14時30分
(2)14時~15時

場 所 実験・工作室、講堂
講 師 東 徹氏(熊本大学名誉教授)
担当者 山口 均(理工)
参加者 23名



電磁気教材の一例

エ 紙バック(Back!)を作ろう

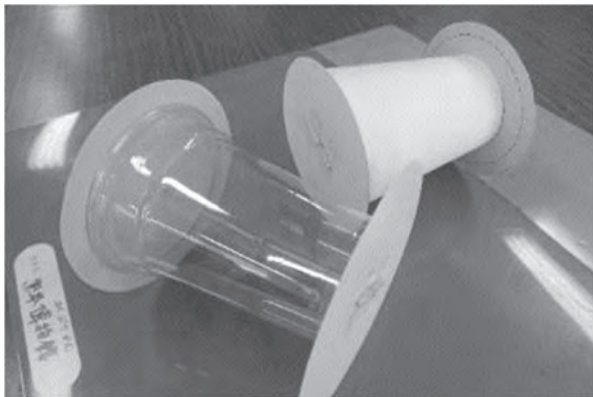
ねじれたゴムが元に戻ろうとする性質(弾性)
について学ぶことができる簡単な科学工作。

製作物を前方に1~2mほどゆっくりと転がすと、
手元に戻ってくるのが楽しくて何度も繰り返して

遊ぶ子どもたちの姿が随所に見られた。

日 時 2月12日(土)
(1)10時30分～11時30分
(2)13時30分～14時30分
(3)15時～16時

場 所 実験・工作室
担当者 山口 均(理工)
参加者 54名



紙バック (Back!)

オ 顕微鏡で見てみよう

双眼実体顕微鏡や、正立顕微鏡、偏光顕微鏡を使い、昆虫の鱗粉や複眼、鳥のペリット内容物、各地の砂粒、砂鉄、火山灰、微化石、砂やすり、岩石の薄片標本など、さまざまなものを自由に観察できるイベントを行った。

日 時 2月19日(土)
(1)10時～12時
(2)14時～16時

場 所 実験・工作室
担当者 清水 稔(動物)
南部 靖幸(地質)
参加者 計139名

カ 熊本城歴史さんぽ 2022

博物館周辺の二の丸・三の丸の歴史スポットを散歩するイベントとして計画したが、当日は雨天のため中止し、代替イベントとして予定していたコースを案内する講座を実施した。

日 時 2月19日(土)

13時30分～14時30分

場 所 講堂
担当者 木山 貴満(歴史)
参加者 4名

キ 世界に一つだけ?!自分だけの刀をデザインしてみよう!

刀の基本を学び、刃文や拵などを自由にデザインする企画。参加希望者が多数となり、当初1回のみでの予定であったが、急遽2回目を実施した。

日 時 2月20日(日)
(1)10時～11時
(2)11時～12時

場 所 講堂
担当者 竹原 明理(美術工芸)
参加者 (1)29名 (2)24名

ク 活性炭電池を作ろう

電池の仕組みと働きについて学ぶ内容。コイン電池や木炭電池などを通して電池は身近な材料でも簡単に作れることを実演して見せた。また、基本的な構造は2種類の金属と電解溶液の組み合わせであることや前年度ノーベル化学賞で話題となったリチウムイオン電池についても少しふれた。

作り方を説明した後で一人2個ずつ活性炭電池を作り、直列つなぎにするとパワーアップすることを電子オルゴールの音量やモーターの回転速度の違いで確かめた。

日 時 2月20日(日)
(1)10時30分～12時
(2)13時30分～15時

場 所 実験・工作室
担当者 山口 均(理工)
協力者 ものづくりサークル会員:3名
参加者 25名

ケ ちりめんモンスターを探してみよう!

「ちりめんじゃこ」の中から様々な生物をより

分け、見つかった生物の生態的特性から、なぜその集団とともに採集されたのか考えた。また、ちりめんが採集される地域の海岸の写真も見せ、海の環境についても考えるきっかけとした。

日 時 2月23日(水・祝)
(1)13時30分～14時15分
(2)14時45分～15時30分
場 所 実験・工作室
担当者 清水 稔(動物)
参加者 計44名

コ 銅鏡のレプリカを作ろう

銅鏡の製造技法について体験しながら、学習する内容。銅鏡の鋳型に融かした低融点合金を流し込んでレプリカ作りを行った。製作前には、担当学芸員が銅鏡の意義・種類・材質等について解説を加えた。

日 時 2月26日(土)
(1)10時～12時
(2)14時～16時
場 所 実験・工作室
担当者 坂本 直也(保存科学)
山口 均(理工)
参加者 68名



銅鏡のレプリカ

サ 石器を作ろう!

石器の種類や使い方を紹介した後、石を削ったり、磨いたりして石器作りを体験してもらった。やわらかい石を使ったので磨きやすく、全員が仕

上げまで行うことが出来た。参加者は石器作りに興味を持っていることから、今後は石材や道具を改善・工夫しながら先人の知恵を学ぶ場とした。

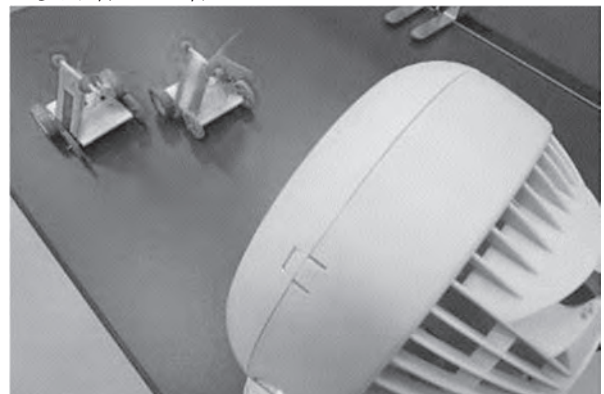
日 時 2月26日(土)
(1)10時～11時30分
(2)13時30分～15時
場 所 南玄関前
担当者 稲津 暢洋(考古)
参加者 15名

シ ウインドカーを作ろう

3年生の理科学習で学ぶ「風やゴムのはたらき」の発展学習として扱うことができる内容。ねじれたゴムが元に戻ろうとする性質(弾性)について学ぶ「紙バック(Back!)」を紹介した後、写真のような「ウインドカー」を製作した。

金槌を使いながら車軸にプーリーを通す作業は難しいので、親子で協力しながら取り組んでもらった。送風機の風を受けながら前進する車を見て、子どもたちからは喜びの歓声が沸いた。

日 時 2月27日(日)
(1)10時30分～11時30分
(2)13時30分～14時30分
場 所 実験・工作室
指導者 山口 均(理工)
参加者 51名



ウインドカー